

11 廃棄物関連

11.1. 建設廃棄物の発生量

建設廃棄物の発生量は、表 11.1-1に示すとおりである。

表 11.1-1 建設廃棄物の発生量

項目	発生源 単位	対象施設					合計	
		工場棟	管理棟	計量棟	一般持込 ごみ回収所	洗車施設		
延床面積 (m ²)	—	11,000	1,100	300	560	190	13,150	
建設 廃棄物 発生量 (kg/m ²)	コンクリート塊	4.7	51,700	5,170	1,410	2,632	893	61,805
	アスファルト・ コンクリート塊	1.1	12,100	1,210	330	616	209	14,465
	ガラスくず及び 陶磁器くず	1.0	11,000	1,100	300	560	190	13,150
	廃プラスチック類	0.9	9,900	990	270	504	171	11,835
	金属くず	0.3	3,300	330	90	168	57	3,945
	木くず	2.1	23,100	2,310	630	1,176	399	27,615
	紙くず	0.2	2,200	220	60	112	38	2,630
	石膏ボード	0.5	5,500	550	150	280	95	6,575
	その他	3.4	37,400	3,740	1,020	1,904	646	44,710
混合廃棄物	1.8	19,800	1,980	540	1,008	342	23,670	

出典：「建築系混合廃棄物の原単位調査報告書」（平成 24 年 11 月 社団法人日本建設業連合会 環境委員会建築副産物専門部会）

11.2. 樹木伐採による廃棄物発生量

11.2.1. エノキ群落

植生調査票を基に、単位面積当たりの樹木本数、樹高、胸高直径を設定し、森林総合研究所「幹材積計算プログラム」により幹材積量を推定した。さらに、都市計画対象事業実施区域内のエノキ群落の面積に単位面積当たりの材積量、比重（乾燥していない生木として1.5）を乗じ、伐採樹木量を推計した。

表 11.2-1 エノキ群落の材積量（100m²当たり）

種名	本数（本）	樹高（m）	胸高直径（cm）	幹材積量（m ³ ）
エノキ	1	12	50	0.91
シロダモ	1	7	12	0.04
イヌマキ	20	3	8	0.22
合計	—	—	—	1.17

表 11.2-2 エノキ群落の伐採樹木量

群落名	面積（ha）	100m ² 当たりの材積量（m ³ ）	比重	伐採樹木量（t）
エノキ群落	0.73	1.17	1.5	128.12

11.2.2. アズマネザサ群落

アズマネザサ群落の現存量は、河原輝彦・佐藤明（1977）「ササ群落に関する研究（I）アズマネザサの現存量の季節変化とそのリターフォール量」（『日本森林学会誌』59巻6号）の実測結果を基に、3.31kg/m²とし、都市計画対象事業実施区域内のアズマネザサ群落の面積を乗じて伐採樹木量を推計した。

表 11.2-3 アズマネザサ群落の伐採樹木量

群落名	面積（ha）	現存量（kg/m ² ）	伐採樹木量（t）
アズマネザサ群落	0.45	3.31	14.90

11.2.3. クズ群落

クズ群落は、都市計画対象事業実施区域においてはアズマネザサ等の上をクズが覆うマント群落であることから、その現存量はアズマネザサ群落と同様として伐採樹木量を推計した。

表 11.2-3 アズマネザサ群落の伐採樹木量

群落名	面積（ha）	現存量（kg/m ² ）	伐採樹木量（t）
クズ群落	0.13	3.31	4.30